

## 倫理 第36回「功利主義とプラグマティズム」

○今回のポイント

快樂をもたらすものが、結局は良い！！というのが「功利主義」

人間の役に立てば、結局は良い！！というのが「プラグマティズム」

第4編・第2章・第4節・**3項** 幸福と功利(教科書 149頁～)

○個人の幸福と社会全体の幸福について

### 資本主義→競争社会→貧富の格差！！ 「個人の幸福と社会の幸福はどうあるべき？」

・アダム=スミス…利己心にもとづく営利追求こそが社会に富をもたらす

a. **① レッセ=フェール** ]…各人が利己心に従って行動しても「神の見えざる手」という市場メカニズムが働き、社会全体の利益を生むという考え方。

b. **② 共感の原理** ]…アダム=スミスは利己心なら何でも認めたのではない。第三者の立場にある公平な観察者の共感を得られる枠の中で行動する限りでのみ、利己的な行為が是認されるとした。



利己心と社会の富・幸福はホントウに調和されるの？



**③ 功利主義** ]…快樂を求め、苦痛を避けるという人間の本性が道德の基準になるという倫理思想。

(1) **最大多数の最大幸福** **④ ベンサム** ]

→ある行為が正しく、道德にかなっているかどうかは、その行為が多くの人に幸福をもたらすかどうか。

※行為の結果重視。行為を行うヒトの思いや気持ちに対しては問題にしない。

行為の動機を重視したカントとは対極的な考え方。

・ **⑤ 快樂計算** ]…人間の快樂を増大させ苦痛を減少させるものを善とし、その逆は悪として、行為の道德的善悪の判断のためにおこなう計算のこと。計算基準は以下の7つ。(1)快苦の強さ・(2)持続性・(3)確実性・(4)実現の時期の近さ・(5)多産性・(6)純粋性・(7)範囲)

・ **⑥ 制裁** ]…快樂計算の結果を最大にするために必要な利己的な存在である人間のための外からの働きかけ。

・ a. 自然的制裁…不摂生の結果、健康を崩す

・ b. **⑦ 法律的制裁** ]…犯罪をおかして刑罰を受ける

・ c. 道德的制裁…実妹と密通して社会的非難を受ける cf. 軽皇子(かるのみこ)と衣通姫(そとおりひめ)

・ d. 宗教的制裁…不敬な行為で神罰を宣告される

☆ベンサムは、この制裁(サンクション)のうち、法律的制裁を重視した。

・ **⑧ 最大多数の最大幸福** ]…最大多数の個人の快樂が満たされた社会が最も幸福であるという原理。

封建制や絶対王政の下での少数者の幸福ではなく、万人が平等で最大の幸福にあずかる権利を持つ。

(2) **不満足なソクラテス** **⑨ J・S・ミル** ]

・ **⑩ 質的功利主義** ]…快樂には質的差異があり、肉欲的な快樂よりも精神的快樂を求めるべきだという思想



「満足した豚であるよりは不満足な人間であるほうがよく、満足した愚かものであるよりは不満足なソクラテスであるほうがよい」

・ **⑪ 内的制裁** ]…道德的義務に反して他者を裏切った時に感じる良心の苦痛。



・ **⑫ 献身の行為** ]…ミルの説く真の快樂、幸福。自分の行いが社会や他者の役に立つことであり、社会的献身や見返りを求めない純粋な愛と、それにともなう喜びであること。



・ イエスの隣人愛…他者の幸福や人類の改善などを理想的目的としている人々が幸福。「我が身を愛するようにあなたの隣人を愛しなさい」という隣人愛にこそ、功利主義道德の理想がある。

(1) **⑬ プラグマティズム** …現実の生活や行動に際して有用な知識や科学的思考を重視する思想(教科書)。  
新しいものを生み出す創造的知性にもとづき個人の自由と社会の確立を目指す。

a. **⑭ パース** …プラグマティズムの創始者。形而上学を批判し、「行動」を基準にして、ものごとを考える。

・ **⑮ プラグマティズムの格率** …ある概念の「意味」を明瞭化するためには、その概念が対象におよぼす「効果」を考えよということ。概念の意味を観念的に考えるのではなく、その概念に従って「行動」した時にもたらされる「実際の結果」によって明確にせよという規則。

↓  
具体例…「硬い」という概念 ⇒ 「叩く」(行動) ⇒ 「壊れない」(効果)

b. **⑯ ジェームズ**

・ **⑰ 実用主義** …物事の価値は「いかに生活に役に立つか」という考え。理論の真偽、行為の善悪、ものごとの美醜などは、人生において有用であるか否かによって、その価値が決まるとする。真理の有用性

・ ジェームズによる「宗教」の捉え方

神の存在の有無など観念的な議論は必要でなく、人々に安心や充実感を与え、人生を豊かにするものであるなら宗教は真理である。つまり、ジェームズによれば、宗教が役に立っているならば、カトリックでもプロテスタントでもイスラームでもヒンドゥーでも仏教でも是とされるのである。

(2) **民主主義の実現と幸福** **⑱ デューイ**

a. デューイの思想の流れ

現代社会は利己主義に陥り社会との結びつきを失う

↓  
個人と社会の調和

↓  
「知性」が必要

⇒ 生活における問題とその状況を把握し、問題の解決に向かって行動を導く能力  
知性は「**⑲ 問題解決**」のための「**⑳ 創造的知性**」

↓  
**㉑ 道具主義** …知識・概念・理性は、現実の人間生活から離れて存在する永遠不変のものではなく、生活の中での矛盾や困難を解決していく「道具」だとする考え

↓  
唯一絶対不変の価値というものはなく、価値は多様で個別的である。  
一つの価値観で全てを支配することは、根本的に民主主義に反する。

b. デューイと問題解決学習

・ **㉒ 問題解決学習** …教科書の智識を暗記させるような教育ではなく、生徒みずからが仮説を立て、それを試行錯誤することにより検証するという学習方法。

例…津市地鎮祭事件と愛媛玉ぐし事件は政教分離をめぐる問題の判決なのに、どうして合憲と意見なのだろう？

(地鎮祭の費用を公金で払うのが合憲で、玉ぐし料を公金で払うと違憲)

⇒ 仮説：地鎮祭は市の土地の儀式で、玉ぐし料は特定神社に対する供物(金品)だからでは？

⇒ 検証：「目的効果基準」というものがある！！ ⇒ 「目的が宗教的意義を持ち、その効果が宗教に対する援助、助長、促進または圧迫、干渉等になるような行為」かどうか問われる。